

島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

平成29年度 第2回探訪会

国引きジオパーク構想南部丘陵山地の

ジオと文化を巡る旅

参加費  
350円

～1400万年前前後の岩石と化石を見よう！～

2017年10月29日(日) 9:00～15:30

「当日の探訪コース」島根大学が手配するバスと徒歩で巡ります。当日の状況により時間が前後する場合があります。

大学(9:00)→来待ストーン・石切場見学(9:40-10:25)→石宮神社(10:35-10:50)→出雲市朝日山の岩根寺のテイスイト・鞍掛岩(11:40-12:20)→キララ多伎(昼食・休憩; 13:00-13:40)→出雲市多伎町小田海岸の地層・化石の見学・採集(13:50-14:30)→大学(15:30)



しまだいCOC

主催 島根大学くにびきジオパーク・プロジェクトセンター  
共催 国引きジオパーク推進協議会 島根大学ミュージアム  
後援 モニュメント・ミュージアム 来待ストーン

<http://kunibiki.noomis.com/>  
<http://www.kunibiki-geopark.jp/>



## 内 容

「ジオ」は「地球」や「大地」という意味で、ジオパークでは、ツアーなどを通じて私たちが住む地域や地球の楽しみながら学ぶことができます。

松江市・出雲市が中心となって設立された「国引きジオパーク推進協議会」では、松江市・出雲市のすばらしい自然と歴史・文化を「国引きジオパーク」として日本ジオパークへの登録を目指しています。

島根大学くにびきジオパーク・プロジェクトセンターでは、定期的に現地探訪会を実施し、地域の皆様とこの地の魅力を再発見する機会を設けています。

今年度第2回目の現地探訪会では、南部丘陵山地エリアのジオ的、歴史・文化的な見どころを見学します。南部丘陵山地エリアは、1,500～1,400万年前に起こった大規模な地殻変動を記録する場所として、また日本海形成終了後の約1,300万年前に繁栄した暖温帯性の化石動物群が産する場所として価値が高いエリアです。出雲地域に住む我々にとってなじみ深い「来待石」は、なぜ古くから人々に利用されてきたのでしょうか？また、窪地にお堂（岩根寺）が建てられている柱を束ねたような見事な崖や、天を突くような岩山が見事な鞍掛岩、これらの場所はなぜこのような特異な形をしているのでしょうか？今回の探訪会では、これらの謎に迫ります。また、小田海岸では、約1,300万年前の化石を観察・採取しながら、大昔の出雲地域の環境を体験します。

参加費：350円（保険料100円と来待ストーン入館料250円）

服装と持ち物：動きやすい服装・運動靴・お弁当・飲み物

## 申込方法

参加希望の方は、参加者の氏名（ふりがな）・住所・連絡先（電話番号・FAX番号・E-mailアドレス）を明記の上、下の宛先に郵便・FAX・E-mailのいずれかでお申込ください。

下の参加申込書もご利用いただけます。

定 員：35名（先着順。どなたでもご参加できます。） / 申込締切：10月23日（月） 必着

## 問い合わせ・お申込先

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060 島根大学 教育学部 自然環境教育講座 辻本 彰

TEL & FAX 0852-32-9876 E-mail tsujimoto@edu.shimane-u.ac.jp

### 参加申込書

ふりがな

氏 名

住 所

TEL

FAX

E-mail